

お知らせ

記者発表資料	平成29年11月16日
配布日	

■同時発表先：岡山県政記者クラブ  
岡山市政記者クラブ

ひゃっけんがわ いち の あらて

## 「百間川一の荒手改築工事 起工式典」開催のお知らせ

～地域小学生・住民の方 130 人と工事着工のお祝いをします～

旭川分流部では、平成 31 年夏の百間川放水路事業完成を目指し、改築工事を進めています。

このたびその最終工程となる「一の荒手」の改築に着手する運びとなりました。

「一の荒手」改築工事着工にあたり、起工式典を開催致しますのでお知らせします。地域の小学生や住民の方を招待して、鍬入れ等の祝賀行事に参加いただきます。

■日 時：平成 29 年 11 月 19 日（日）10：00～（受付開始 9：30～）  
小雨決行（注意報等発令された場合は中止）

■場 所：岡山県岡山市中区今在家地先  
中消防署・水防センター南側河川敷（詳細は別添参照）

★取材希望の方は、下記まで事前に連絡いただければ近傍の駐車場を準備いたします。  
080-8242-5633：担当 児子（にご）まで



一の荒手完成イメージ（全景）



分流部 洪水状況イメージ

<問い合わせ先> 国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所  
電話 086-223-5101（代表）  
086-223-5184（工務課直通）  
<担当> 副所長 今岡 俊和（いまおか としかず）  
工務課長 児子 真也（にご しんや）

## 百間川一の荒手改築工事起工式の挙行について（案）

1. 日 時 平成29年11月19日（日） 受付開始 9時30分～  
式典 10時00分～
2. 場 所 岡山市中区今在家地先
3. 主 催 岡山市  
国土交通省 岡山河川事務所
4. 起工式次第 アトラクション「備前陣太鼓」
- (1) 開式のことば
  - (2) 挨拶
  - (3) 来賓祝辞
  - (4) 来賓紹介
  - (5) 祝電披露
  - (6) 工事概要説明
  - (7) 閉式のことば
5. 祝賀行事（鍬入れ）



鍬入れ（イメージ）

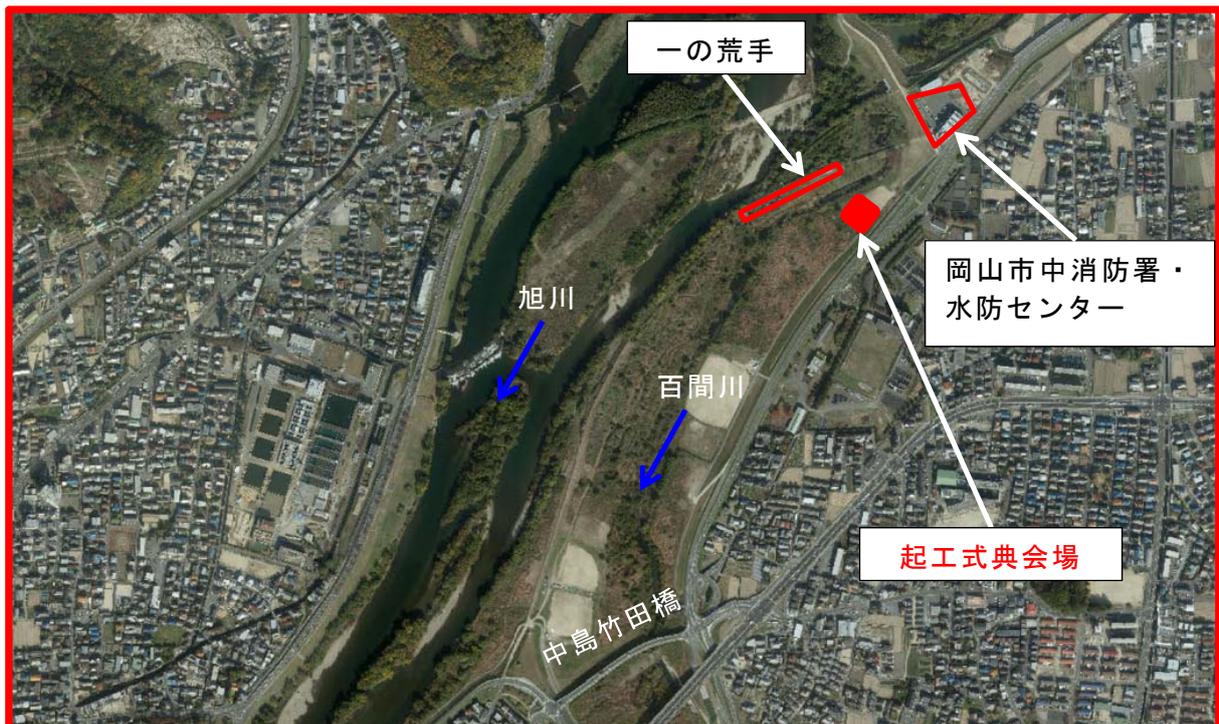
# 別添

## 位置図

起工式典会場 岡山市中消防署・水防センター南側河川敷（岡山市中区今在家地先）



## 位置関係図（航空写真）



# 一の荒手改築工事 位置関係図



## ○「一の荒手」 現況と完成イメージ

### ①現状 (航空写真)



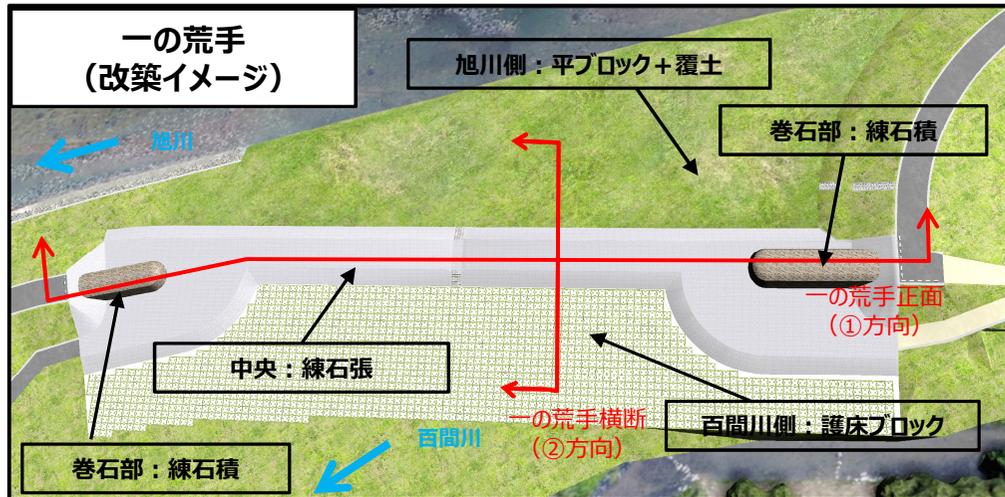
### ②完成イメージ図



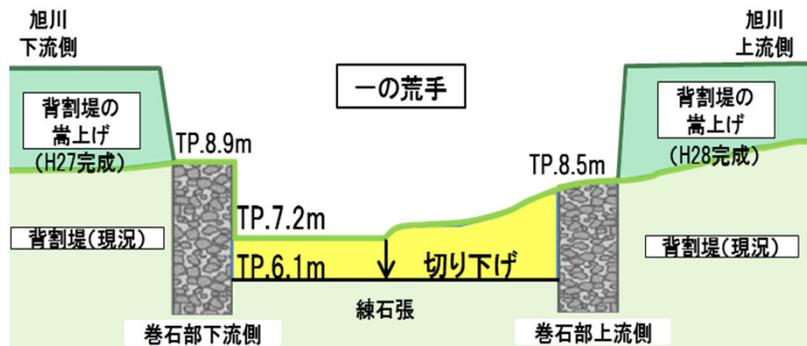
# 一の荒手改築工事 工事概要

## ■ 工事概要

- 旭川百間川の分流比を確保するため、「一の荒手」の改築補強を実施する。
- 中央（越流部）はコンクリートを撤去して練石張とする。
- 旭川側、百間川側は、それぞれ平ブロック、護床ブロックを設置する。
- 巻石部（亀の甲）は、現在の位置に練石積で保全する。



## ○ 一の荒手正面 (①方向)



## ■ 工事担当

### 中央（巻石部含む）

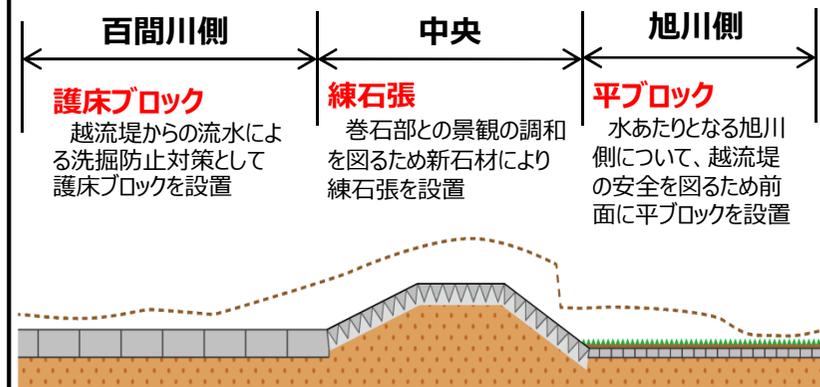
工事名 : 百間川一の荒手改築工事  
 工事請負者 : 蜂谷工業株式会社  
 工期 : 平成29年9月22日から平成30年7月31日  
 請負金額 : 290,520,000円

### 百間川側

工事名 : 百間川一の荒手下流根固外工事  
 工事請負者 : 蜂谷工業株式会社  
 工期 : 平成29年9月30日から平成30年3月30日  
 請負金額 : 150,120,000円

※旭川側 平成30年度発注予定

## ○ 一の荒手横断 (②方向)

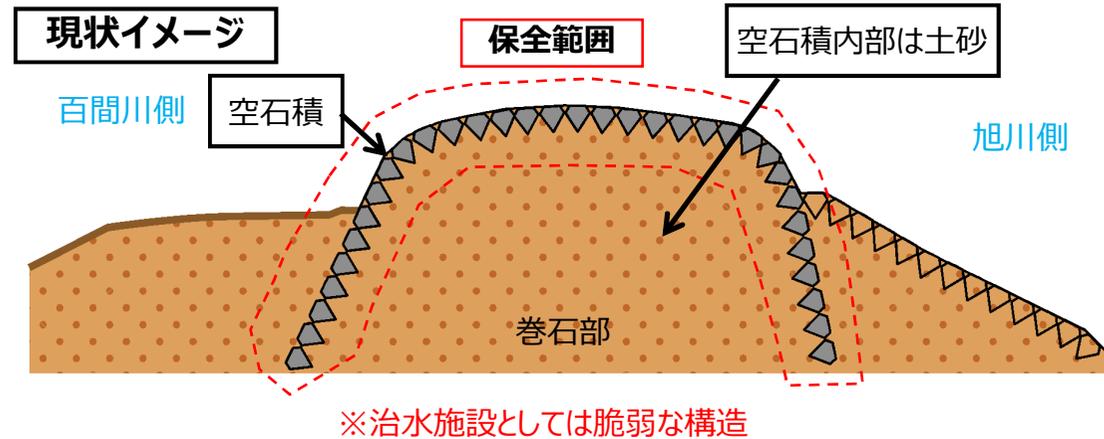


# 一の荒手改築工事 工事概要（巻石部（亀の甲））

## ○巻石部（亀の甲）とは

- ・江戸時代に津田永忠が作ったとされる石積の治水施設（現状写真参照）。
- ・治水施設としては脆弱な構造であり、過去の洪水で幾度も壊れて、その都度人力での修復が繰り返されている。

## 1. 巻石部（亀の甲）の現状



## ○現状写真

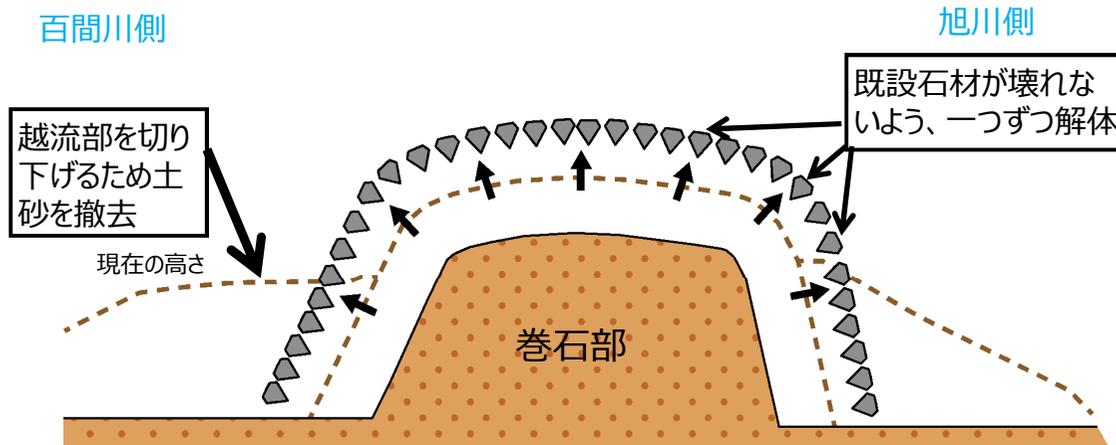


# 一の荒手改築工事 工事概要（巻石部（亀の甲））

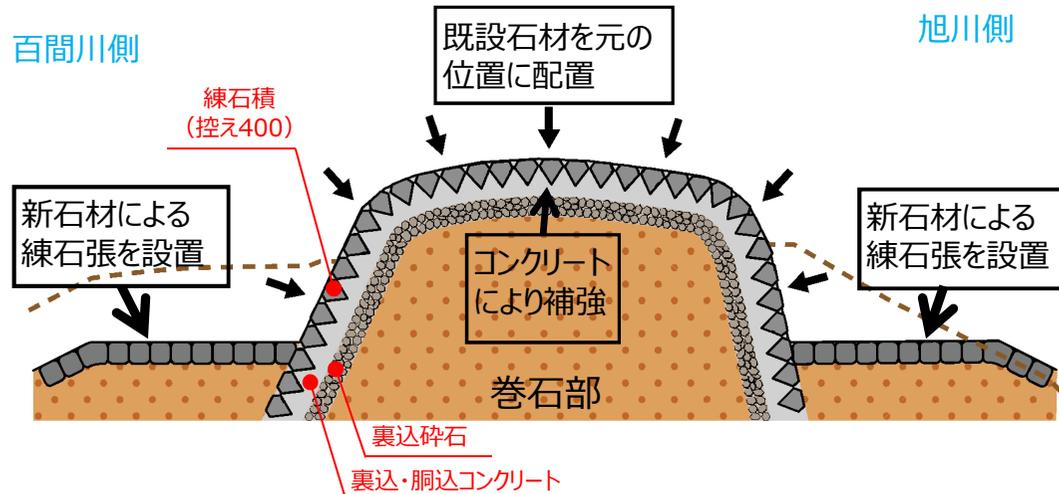
## 2. 巻石部（亀の甲）の工事内容

○治水施設として、現在の位置に練石積で保全する。

### ①解体作業（イメージ）



### ②保全作業（イメージ）



### 既設石材解体作業

既設石材を一つずつ上部から順に解体



### 巻石部の仕上がり（イメージ）

コンクリート目地が見えないように施工



# 百間川分流部 完成イメージ

平成31年夏に「一の荒手」と「百間川」が完成予定！！



※江戸時代に考案された施設(一の荒手)を治水施設として活用するのは全国でも初めての取組です。